

重大な事故防止に向けた安全対策

【 17 バドミントン 】

1 競技特性

ネットを挟んでラケットでシャトルコックを打ち合うスポーツである。決められた相手コート内にシャトルを落とすか、相手がフォルトをとられた場合、得点が入る。試合には、1対1のシングルスと2対2のダブルスが有り、ダブルスには男性同士、女性同士でペアを組むものと男女でペアを組むミックスダブルスがある。

バドミントンは、緩急を使い分ける様々なショットやフットワーク、対戦相手との駆け引き、ダブルスの場合、ペアとのコンビネーションなど多岐にわたる技術が必要とし、パワーや瞬発力とともに持久力の優劣も勝負を左右する、複雑で厳しいスポーツである。

2 想定される事故事例と予防策

(1) 主として施設・設備・用具が要因となって起こる事故

想定される事故やけがの原因(事例)	傷害例(重傷以上・軽傷)	予防策
<ul style="list-style-type: none"> ・ 審判台の老朽化・ネジの緩みが原因で昇降の祭に、審判台の転倒の可能性がある。 ・ ポストの老朽化・ネジの緩みが原因で、ネットを張る際や片付ける際にネジ緩みストッパーが跳ね上がる。 ・ 床やコートマットに損傷がある。 ・ 床やコートマットに汗やゴミがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 審判台がバランスを崩して、倒れて下敷きになる(軽傷～重傷) ・ ポストのネジが緩み、ストッパーが跳ね上がり、額に当たり怪我をする(軽傷～重傷) ・ 躓いて転んだり、ささくれ等がささる。(軽傷～重傷) ・ スリップしたり、躓いたりして転倒して怪我をする。(軽傷～重傷) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 試合開始前や、収納時に点検をする地震が起こった際には審判台から降りて、安全を確保する。 ・ 試合開始前や、収納時に点検をする。 ・ 試合開始前や、収納時に点検をする。 ・ ゲーム開始時やインターバル中、又はラリー間にその都度、汗を拭いたり、ゴミを拾う。

(2) 主として活動内容が要因となって起こる事故

想定される事故やけがの状況(事例)	傷害例(重傷以上・軽傷)	予防策
<ul style="list-style-type: none"> ・ 相手の打ったシャトルが眼にあたる。 ・ 自分で振ったラケットが眼や歯、顔、股間等にあたる。 ・ パートナーのラケットが眼や歯、顔等にあたる。 ・ 活動中にアキレス腱や足首・膝を損傷する。 ・ 突然倒れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 眼球破裂や前房出血等の眼の損傷をする。(軽傷～重傷) ・ 眼球損傷や歯の欠損、頭や顔の打撲・擦過症等の怪我をする。 ・ 眼球損傷や歯の欠損、頭や顔の打撲・擦過症等の怪我をする ・ アキレス腱断裂、足首の捻挫、膝の(靭帯・半月板)損傷をする。(軽傷～重傷) ・ 心室細動等が発生する。(重傷) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指導者による注意指導と各選手の技術向上、発生時にはアイシングの上、必要なら救急車対応を要請する。 ・ 指導者による注意指導と各選手の技術向上、発生時にはアイシングの上、必要なら救急車対応を要請する。 ・ 指導者による注意指導と各選手の技術向上、発生時にはアイシングの上、必要なら救急車対応を要請する。 ・ 各選手による技術向上、発生時にはアイシングの上、必要なら救急車対応を要請する。 ・ 発生時には、施設のAEDを用いるとともに救急車を要請する。

(3) 主として環境条件等が要因となって起こる事故

想定される事故やけがの状況(事例)	傷害例(重傷以上・軽傷)	予防策
<ul style="list-style-type: none"> ・ 会場来場や帰宅途中での雷、台風等の自然災害被害が発生する。 ・ 競技場内の気温・湿度が上昇する。 ・ 特にインフルエンザや感染性胃腸炎等の流行中の大会において、集団での移動や試合を通して感染が拡大する。 ・ Jアラート発令時の対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 落雷や突風被害にあう。(軽傷～重傷) ・ 熱中症・熱けいれんが引き起こす。(軽傷～重傷) ・ インフルエンザや感染性胃腸炎等に罹患する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 警報・注意報等の情報収集の上、注意喚起をする。 発生(予想)時の競技会中止の判断をする。 交通機関等の運行状況の把握を把握する。 ・ 競技場の気温・湿度の計測(随時)をする。 空調設備により気温・湿度の管理をする。 ・ 体調の悪い生徒の大会参加を自粛してもらう。 また、集団での移動ではマスクの使用を励行したり、試合の開始時や終了時の握手をしない、手洗い・うがいの注意喚起をする。 ・ 発令時の対応や様々な場面での避難方法について確認し、事前に参加者等に周知しておく。また情報収集の手段や、関係者および保護者等との連絡方法について準備しておく。

参考文献

バドミントン教本「基本編」 (公財)日本バドミントン協会編 ベースボールマガジン社

安全確認チェックリスト 【 17 バドミントン 】

競技会名	
期 日	令和 年 月 日 ()
会 場	
記載者名	

区分	確認項目	✓
施設 ・ 設備 ・ 用具	審判台のネジの緩みを確認する	
	審判台の異常を確認する	
	ポストのネジの緩みを確認する	
	床やコートマット面の異常（汗・ゴミ・損傷）を確認する	
	コート間の状況確認をする	
	選手のラケットの異常をチェックさせる	
	選手のラケットグリップの異常をチェックさせる	
活動 内容	準備運動の有無を確認する（実施の徹底）	
	怪我予防のための事前指導をする（注意喚起、基礎体力の向上）	
	事故発生時の対応方法の確認（応急処置、近隣医療機関の把握、AEDの設置場所）をする	
環境 条件 等	雷や台風等の自然災害の注意喚起をする	
	自然災害の「警報」・「注意報」等の情報収集をする	
	〔夏季〕「熱中症」予防－競技場の気温・湿度を計測（随時）をする	
	〔冬季〕「インフルエンザ」等感染防止－罹患者の有無を確認をする	
発 令 時 対 応	主催者や指導者がJアラート発令時の対応を確認し、参加者等に周知しているか	
	顧問不在時など想定される様々な場面での避難方法を、生徒等に指導しているか	
	情報の収集や保護者への連絡方法を確認し、名簿等を準備しているか	

反省・報告(事故、ヒヤリ・ハット含む)